

(しくみさい) 仕組債の特徴



◆ご検討にあたって◆

仕組債は預金や一般債券では得られない高い金利が得られる可能性がある一方、参照する金融指標等の値動きによって、その高い金利が得られなくなることや投資した元金が大きく棄損する場合があります。ご投資の検討にあたっては、東京スター銀行担当者から詳しく説明をお聞きいただき、商品内容や投資リスクを十分ご理解の上で、投資判断いただきますようお願いいたします。

そもそも仕組債とは・・・？

「仕組債」とは、文字通り、一般的な債券(プレーン債)にはない特別な「仕組み」をもつ債券です。この「仕組み」とは、スワップ※1やオプション※2などのデリバティブ(金融派生商品)のことをさします。つまり「一般的な債券」に「デリバティブ」を組み込んだ債券を「仕組債」ということになります。

※1 スワップとは、金利(固定金利と変動金利)や通貨(円と外貨)を交換する取り引きをいいます。

※2 オプションとは、あらかじめ約束した価格で、将来に売ったり買ったりする権利のことをいいます。



- ① デリバティブを利用することにより、投資家や発行者のニーズに合うリターンを生み出すことができます。
- ② つまり「仕組み」により、満期やクーポン(利子)、償還金などを、投資家や発行者のニーズに合わせてさまざまな形態に設定することができるのです。
- ③ 通常、ほとんどの仕組債にはオプション取引が組み込まれています。この場合、オプションの売り手となりますので、その価値の分だけの代金を受け取ることができます。
- ④ それを金利に上乗せすることにより、高めの金利を設定することができます。
- ⑤ ただし、オプションの売り手となることにより、元本を大きく棄損するリスクを負うことがあります。

お問い合わせは

TOKYO STAR BANK 東京スター銀行

登録金融機関: 関東財務局長(登金)第579号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会

委託金融商品取引業者

Rakuten 楽天証券

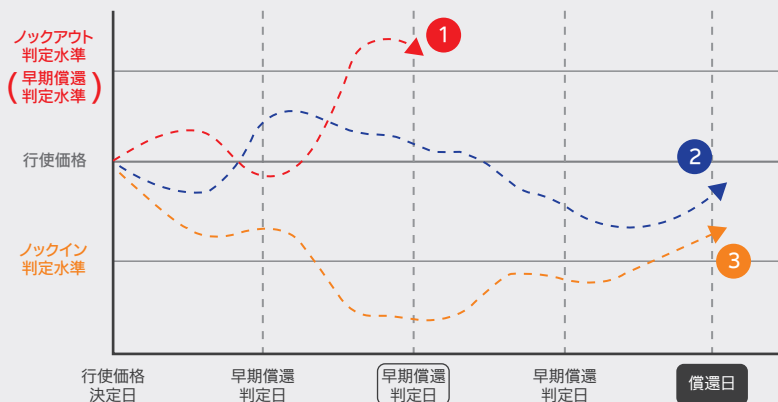
商号等: 楽天証券株式会社/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号、商品先物取引業者

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

仕組債の代表銘柄「株価指数連動（リンク）債」と「EB債（イービー債）」

仕組債は「株価指数連動（リンク）債」、「EB債（イービー債）」の2種類の発行が多くなっています。通常の債券と異なり、株価指数連動（リンク）債・EB債は参照銘柄（各種指数や株式）の値動きによって、商品の条件が変動する代わりに、通常の債券よりも好利回りで運用することができます。あらかじめ定められた判定日における参照銘柄の価格が一定の範囲内で推移すれば、通常の債券と同じような運用となります。一方、判定日に、参照銘柄の価格が決められた水準（ノックアウト判定水準、早期償還判定水準）を上回れば、償還日より前に償還（ノックアウト、早期償還）されます。また、参照銘柄の価格が決められた水準（ノックイン判定水準）以下となれば、償還時に元本割れとなってしまうリスクもあります。



1 保有期間中に、

ノックアウト(早期償還)判定日における参照銘柄の価格 \geq ノックアウト(早期償還)判定水準

2 保有期間中は、

ノックイン判定水準 $<$ 参照銘柄・指数の価格 $<$ ノックアウト(早期償還)判定水準 の範囲で推移

3 保有期間中に、一度でも

参照銘柄の価格 \leq ノックイン判定水準 となり、かつ 償還日における参照銘柄の価格 $<$ 行使価格

購入時
額面金額

- 1 の場合 **償還日より前に** 額面金額で償還 **早期償還発生**
- 2 の場合 **償還日に** 額面金額で償還
- 3 の場合 **償還日に** 額面金額以下で償還 **ノックイン発生**

株価指数連動（リンク）債：①②③ いずれのパターンで償還しても、現金で償還します。

EB債：③ のパターンで償還すると、対象株式と現金調整額で償還します。

ご投資にあたって

- 債券をご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただけます。
- お申し込みにあたっては、東京スター銀行が交付する「仕組債の取引に係るご注意」「契約締結前交付書面」「損益シミュレーション」等、商品の重要事項が記載された書面をよくお読みいただき、購入をご検討ください。証券投資に関する最終決定は商品内容を十分にご理解の上でお客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、購入時には「確認書」を差し入れていただけます。
- 未成年の方はご購入いただけません。

仕組債の特有リスク

- あらかじめ定められた参照指標（株価、株価指数、金利、為替、商品価格など）に基づきクーポン（利率）が決定される仕組債については、参照指標の変動によりお客様が受け取るクーポン（利率）が減少する可能性があります。
- あらかじめ定められた参照指標（株価、株価指数、金利、為替、商品価格など）に基づき償還金額が決定される仕組債については、参照指標の変動により償還金額が変動することで、お客様が受け取る償還金に差損が生じる可能性があります。
- アレンジャーなどにデフォルト（債務不履行）事由が発生した場合、損失が生じる可能性があります。また、債券の投資リスクとして、発行者または保証者の経営・財務状況の変化および格付などの外部評価の変化などにより、債券の価格が変動し、投資元本を割り込むことがあります。
- 上記以外にも、仕組債の商品性によっては、参照指標（株価、株価指数、金利、為替、商品価格など）の変動により、償還金の支払に代えて株式などの有価証券の受け渡しにより償還されたりするような場合もあります。
- 仕組債は、通常、償還まで保有することを前提とした債券となっています。やむを得ず中途売却される場合、売却価格が著しく低くなり、投資元本を割込む可能性があります。（ご購入に際しては、満期までの保有ができる資金でお願いいたします）